# 病院からのお願い ～安全・安心な医療のために～

## 患者さんの確認について

・当院では患者さんの識別のため、入院されるすべての方にリストバンドの装着をお願いしています。
・点滴・輸血等に関しては、照合システムでの患者照合を24時間行っています。ご本人に氏名を名乗っていただいておりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。
・リストバンドが汚れた場合はお取り替えしますので、遠慮なく申し出てください。

## 転倒・転落防止について

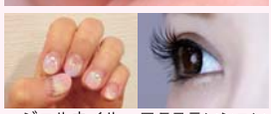
・入院による生活環境の変化と病気による体力低下等により、思いがけず転んでしまうことがあります。歩行中の転倒やベッドからの転落に十分ご注意ください。
・入院時、看護師が患者さんの転倒防止の質問を行い、患者さんの危険度にあわせ、ベッドの柵やセンサー等を使用しますのでご了承ください。

＜転倒・転落を防ぐためのお願い＞

・サイズの合った靴や上履きなど踵のある動きやすい靴をご用意ください。（スリッパ・サンダルは危険なのでご遠慮ください）
・点滴スタンドやオーバーテーブル、カーテンなど不安定なものに寄りかかると危険です。
・ベッドから起き出す際は足に力が入ることを確認してから動いてください。
・夜間は足下を明るくできますので、ご相談ください。
・眠るときは必ずベッド柵を上げ、ベッドは低くしてください。
・遠慮せずにナースコールを使い、看護師をお呼びください。

## 身の回りの準備について

ネイルアート



ジェルネイル　エクステンション

・手術や術後に必要な医療機器（モニター類）を指先に装着することがあります。マニキュアなどで正確な値が測定できない恐れがあります。右写真にある爪（ネイルアート）・マニキュア・付爪ジェルネイルは除去し、爪は短く切ってください。
・手術中は、目を保護するテープを貼る場合があり、テープをはがす際に外れたエクステンションで角膜損傷などの危険があります。つけまつげやエクステンションは除去してください。
・入院中は指輪やピアスなど金属製品を外してください。
・刺青（アートメイク含）をされている場合は必ずお伝えください。

## 深部静脈血栓症予防にご協力ください

・ベッドで寝たきりの状態が続くと、足から戻ってくる血液の流れが悪くなり、血のかたまり（血栓）ができやすくなります。血栓が肺へ流れていくと肺の血管を詰まらせ（肺梗塞）胸痛や呼吸困難など重い症状をおこすことがあります。
・過去に深部静脈血栓症と診断されたことがあれば、必ずお知らせください。
・手術後に圧迫ポンプを使用する場合があります。
・長時間の安静を要する場合は、医師の指示で圧迫ポンプの他、圧迫ストッキングや弾性包帯を使用する場合がございます。

## アレルギーについて

お薬や食べ物でアレルギーを起こす場合があります。
以下のような経験があれば、必ず医師・看護師・薬剤師にお伝えください。

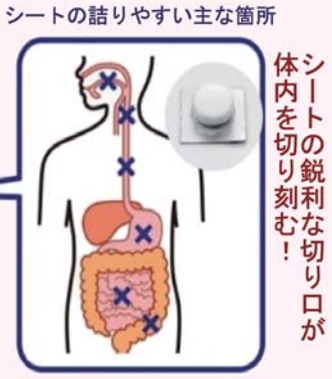
・食べ物でアレルギーをおこした経験がある方
・お薬による副作用（かゆみや発疹）が出た方
・検査時の造影剤などで、かゆみ、顔のほてり、めまい、吐き気などの症状の経験がある方
・アレルギー体質のご家族がいる方は、医師・看護師・栄養士にお伝えください。

## お薬を飲まれる際は、包装シートの誤飲にご注意ください

お薬を包装シートのまま誤って飲み込む事例が近年増えております。
包装シートは一錠ずつ小さく切り離さず、その都度お薬だけを取り出してお飲みください。

**錠剤の取り出し方**

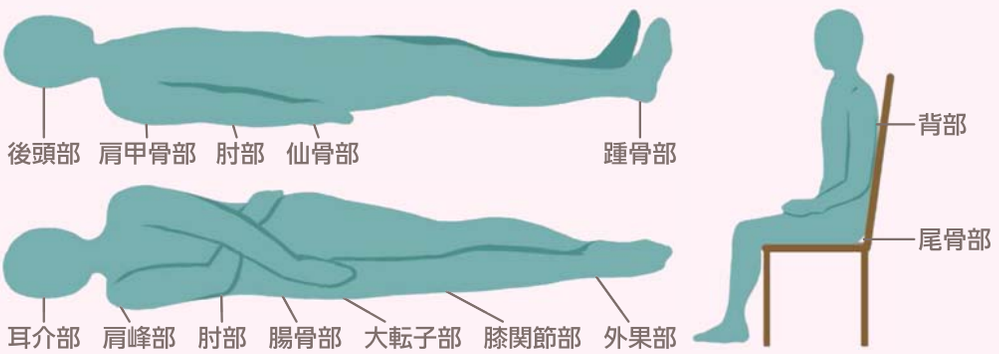
おくすりは、
包装シートから取り出して
お飲みください!




## 褥瘡（床ずれ）予防にご協力ください

・褥瘡（床ずれ）は圧迫やズレが原因でできるキズです。どなたでも褥瘡はできることがありますが、寝返りが難しい方や痛みを感じにくい、むくみがある方は特にできやすくなります。
・褥瘡予防は、２時間ごとを目安に仰向けや左右に寝返りをうちます。ご自分で出来ない場合はお手伝い致します。必要に応じて予防用マットレスやクッション、すべりやすいグローブなどを使用し対策します。
・失禁のある方も褥瘡ができやすいため、撥水クリームのご使用やオムツパッドの種類をご提案することがあります。
・皮膚が赤くなっている、むけた部分がある、過去に褥瘡ができたことがある方はお知らせください。

**褥瘡（床ずれ）ができやすいところ**




病状の変化や転倒・転落の発生に際し、ご家族の方に緊急で電話連絡をさせていただくこともありますので、いつでも連絡がとれるようにしておいてください。